



Gunma Association of Occupational Therapists

一般社団法人

群馬県作業療法士会ニュース

「からっ風通信」

第138号 2019年10月発行

巻 頭 言

第22回群馬県作業療法学会

(特定医療法人 博仁会 第一病院 リハビリテーション室)

第22回群馬県作業療法学会 学会長 柴田全利

記念すべき令和元年、第22回群馬県作業療法学会を12月8日(日)に高崎市総合福祉センターにて開催することになりました。

さて、今年度のテーマは「つながりのある作業療法」です。私は、様々な「つながり」を構築していくために支えているのが作業療法士なのではないのかと考えます。対象者や家族を取り巻く環境を踏まえて包括的に生活を捉える専門性を有しているのが作業療法士と考えているからです。

当会では2015年度から、ブロック支部強化学業がはじまり今年度、地域局が増局され4局制になりました。地域局におけるブロック支部の基本方針は、①会員の情報の共有及び情報発信の強化②会員の士会活動への参画促進③地域との連携強化と地域に対する作業療法活動の情報発信となっています。これは我々、作業療法士間のつながりの強化とともに地域とのつながりの強化を意味しています。地域で暮らす皆様の声を、自治体からの声を、より近い作業療法士が作業療法を通じて活動と参加を促し、有意義な生活を送れるように支援するのです。県士会におけるブロック支部強化の意味合いも今回の学会のテーマに通じると思います。

学会の開会式には社会福祉法人群馬県社会福祉協議会会長、川原武男様より挨拶を賜ることになりました。

基調講演には、山口昇先生をお招きしまして、「過去から未来につなぐ作業療法～主体的に考える手がかりを～」と題して、長く養成校教員として勤務された経験を持ち、また現在、放課後デイサービスを運営している合同会社ライフケアゆうあいの代表としての立場からご高話いただきます。

作業療法士だけでなく参加されたすべてのの方が、明日からの臨床にすぐに活かしていただけるようなシンポジウムやワークショップを様々な領域で働く専門職の方々に依頼し企画いたしました。身体障害領域では、シーティングやハンドセラピー、がんのリハビリテーションのワークショップを行います。精神科領域では精神障害に対する運動プログラムを行います。発達領域では、臨床に活かせる子供用玩具と一緒に体験できる企画を準備しております。

今年度も生活行為向上マネジメント推進委員会にも協力をいただき、生活行為向上マネジメント事例検討会も行われます。

また、今回の学会では多くの企業にご協力いただき機器展示も一層楽しめるように工夫しました。福祉車両も展示する予定です。

後援も群馬県、開催市である高崎市をはじめ、群馬県医師会様、群馬県看護協会様、群馬県介護福祉士会様、群馬県介護支援専門員協会様、群馬県理学療法士協会様、群馬県言語聴覚士会様、群馬県介護老人保健施設協会様、群馬県老人福祉施設協議会様、群馬県地域密着型サービス連絡協議会と多くの団体様からいただきました。この場を借りて感謝申し上げます。

実行委員一同、この学会が作業療法士の皆様の今後の発展の一助となり、参加者全ての方々にとって有意義なものとなるよう準備を進めています。

他職種の皆様、学生の皆様、ご家族一緒での参加も大歓迎(無料)です。皆様の参加をお待ちしております。

群馬県作業療法士会 2019年度 第2回理事会

日 時：令和元年7月17日(水) 19:00～21:30

会 場：群馬医療福祉大学 前橋キャンパス
K' BIX元気21まえばし内6階 104教室

参加者：新井、関根、山口、柴田、山浦、勝野、李、高坂、小此木、市川、都丸、村井、唐澤、小林、高橋 計15名

I. 会長から

特記事項無し。

II. 各部議事

1. 教育部活動報告[報告者:勝野/部長 今井卓也]

【報告事項】

- 1) ブロック長会議 4月21日 高崎市総合福祉センター
・ 新年度の研修配分 ・ 研修会進捗状況報告
- 2) 新人症例発表会参加者
会員111名 新卒26名 非会員1名 学生3名 (計141名)
支出205,194円 収入64,000円
- 3) 研修会報告
※現職者共通研修
・ 令和元年8月25日(日) 時間:未定(9:00～17:00予定)
会場:テイホーム 孫の手・いづか
作業療法生涯教育概論 講師:柴田理事
・ 作業療法における協業・後輩育成 講師:都丸理事
・ 職業倫理 講師:長谷川OTR
・ 保健・医療・福祉と地域支援 講師:真塩OTR
・ 令和元年9月1日(日) 時間:未定(9:00～17:00予定)
会場:博仁会 第一病院
・ 実践の為の作業療法研究 講師:李理事
・ 作業療法の可能性 講師:山口副会長
・ 日本と世界の作業療法の動向 講師:新井会長
・ 事例報告と事例研究 講師:近藤OTR

※基礎研修

【身体障害領域】令和元年8月9日(金) 時間:19:30～

テーマ:高次脳機能障害のリハビリテーション
～背景因子に着目して～

会場:前橋赤十字病院

講師:石川先生(東京慈恵医科大学付属病院)

【老年期障害領域】令和元年10月23日(水) 時間:19:30～

テーマ:高齢者と心不全

会場:群馬医療福祉大学 講師:村井達彦理事

【発達障害領域】令和2年1～2月に開催予定 時間:19:30～

会場:未定 講師:未定

※現職者選択研修

【老年期障害領域】令和2年1月12日(日)

時間:未定(9:00～17:00予定) 会場:未定 講師:未定

【審議事項】 なし

2. 広報部活動報告[報告者:都丸樹]

【報告事項】

- 1) 公益事業グループ(グループ長:中澤)
・ 6月25日に第一回公益事業グループ会議を実施。今後のスケジュールやノベルティグッズの作製等を検討。
・ 高校生一日体験の書類等進めています。
・ 10月27日(日)に開催予定の健康フェスタについて内容を検討。
・ 今年度の作業療法フェスタに関しては高崎イオンが改修工事もあり、ブリッジなどのスペースをお借りし、小規模で実施する方向でイオン様と検討中。
- 2) ニュース編集グループ(グループ長:反町)
・ 7月号は予定通りに進んでおり、下旬に会員のもとへ届く予定。
・ 次回は10月号を発行予定。10月号は例年、県学会長に巻頭言を依頼しており、今年度も同様に依頼させて頂く予定。

※ニュースへ掲載する記事等ございましたら、9月中旬を目途に送付をお願いします。

※現在までのニュースは基本的には“報告”が主になっているが、今後は学会や各種イベント等、実施前のもを宣伝・告知として記事にしていきたい。研修会、イベント等ある際にはニュース掲載の協力をお願いします。

→外部への広報を含めた広告的な記事などの掲載も検討してほしいとの提案あり。

3) 広報企画グループ(グループ長:金子)

・ 県士会リーフレットの改定に向けて業者に対して必要な情報収集を適時、行っている

・ 広報部内のグループと協力し情報収集を行っている。

【審議事項】無し

3. 養成校連絡協議会活動報告[報告者:高坂]

【報告事項】

- 1) 令和元年度県学会の学生ボランティア募集について
群馬医療福祉大10名、群馬大学4名、前橋医療福祉専門学校4名、太田医療技術専門学校2名、計20名の募集を進める。学会運営との連携を図っていく。
- 2) 次回以降、群馬パース大学準備室室長の村田先生が参加される予定。2021年度開学予定。

【審議事項】

- 1) 学生会員(養成校)向け県士会ニュースの配布について
紙媒体による配布により学生会員の入会を促進したい。
→各校5部ずつ、計20部を増刷していただけないか。⇒ 承認
- 2) 実習指導者養成研修会(都道府県研修)の実施日程について
各校に教員派遣、会場提供を打診していく。
→都道府県研修は、2月29日、3月1日の二日間、群馬大学での実施を提案したい。
- 3) 学生向け「臨床実習に関するアンケート」の公表について
平成30年度に実施した「臨床実習に関するアンケート」について、県士会ニュースで結果の概要を報告したい。また、自由記述を除くデータをHPで一般公開したい。⇒ 承認

4. 地域作業療法推進部[報告者:高坂]

1) 地域包括ケア推進グループ(小澤グループ長)

【報告事項】

・ 以下の通り、介護予防に資する人材育成のための研修会を予定している。

◎北中毛ブロック:9月9日(月)19:00～21:00 渋川医療センター

講師:PT吉田氏(渋川中央病院)

佐野様(渋川市地域包括支援センター)

◎西毛ブロック:9月25日(水)19:00～21:00

高崎市総合福祉センター

講師:OT土岐氏(榛名荘病院)、

今泉様、片貝様(高崎市長寿社会課)

◎東毛ブロック:10月18日(金)19:00～21:00

SUBARU太田記念病院

講師:OT今村氏(孫の手あしかが)、

講師調整中(太田市長寿あんしん課)

・ 8月3～4日 日本作業療法士協会主催「地域ケア会議および介護予防・日常生活支援総合事業に関する人材育成研修会」(TKP 築地新富町カンファレンスセンター)に、部長の真塩氏・地域包括グループ長の小澤氏2名で参加予定である。

【審議事項】なし

2) 認知症支援推進グループ(宮寺グループ長)

【報告事項】

・ 5月13日付で、平成30年度群馬県地域医療介護総合確保基金事業(介護分)の補助金額の確定通知(921,000円)があった。

・群馬県健康福祉部より平成31年度群馬県地域医療介護総合確保基金事業(介護分)の協議結果の採択通知があった(認知症ケア研修事業 657,000円)

【審議事項】なし

3) 発達支援推進グループ(六本木グループ長) 報告者:勝野

【報告事項】

- ・令和元年度群馬県特別支援学校機能強化事業が開始となり、7月1日現在で6件の派遣依頼があった。それぞれに派遣者が決定して訪問予定になっている。
- ・令和元年6月26日(水)に群馬県教育委員会特別支援教育課に北爪前グループ長と六本木現グループ長で訪問した。町田課長と外部専門家配置事業担当である狩野指導主事にグループ長変更になった旨の挨拶を行った。
- ・定期勉強会を7月11日(木)anomiraにて開催予定。11月10日に予定している発達G主催の研修会の内容について検討する。

【審議事項】なし

4) 精神科領域推進グループ長(加藤グループ長)

【報告事項】

- ・5月17日付で、平成30年度群馬県地域自殺対策強化事業費補助金の補助金額の確定通知があった(319,000円)。
- ・群馬県健康福祉部障害政策課より、平成31年度群馬県地域自殺対策強化事業費補助金の交付上限額の内定通知があった(補助金交付上限額 346,000円)。6月28日付で、交付申請書類一式を提出した。
- ・群馬県健康福祉部障害政策課より、平成31年度群馬県地域自殺対策強化事業支援情報検索サイトの掲載情報の作成依頼があった。8月2日までに県へ提出を予定している。
- ・令和元年度自殺対策強化事業支援者向け普及啓発事業(研修会)を予定している。

◎令和元年11月17日(日)9:00~12:10

群馬医療福祉大学リハビリテーション学部(予定)
講師:溝口健介氏(医療法人喜志会ケンクリニック 理事長)
石川京子氏(NPO法人リンケージ 理事長)

- ・7月18日に第2回グループ会議を開催予定。一般向け自殺予防対策事業(普及啓発グッズ作成)等について検討する予定である。
- ・これまでの精神科作業療法士を対象とした情報交換会・勉強会の形態を変更し、今年度より、領域を問わず作業療法士を対象としたメンタルヘルスの情報交換会を実施することとなった。第1回目は7月25日を予定している。

【審議事項】なし

5) その他

【報告事項】

担当理事が、市川理事より山浦理事に変更となった。事業について情報共有しながら進める。

5. 地域局[報告者:柴田]

【報告事項】地域局の今後の構想について説明。

1) 西毛ブロック支部 報告者 山浦

【報告事項】

- 会議 支部会議兼学会実行委員会議
5月10日 第一病院にて実施(参加49名)
・学会企画の説明、承認 実行委員担当の承認
・学会における今後のスケジュール確認
6月23日 主任代表者会議にてブロック支部の今後の活動、県学会、フェスティバルの進捗状況報告
- 西毛ブロック支部 担当事業 進捗状況
・医療介護連携フェスティバルin高崎(令和元年8月31日)
5月31日 第一病院にて打ち合わせ会議実施
7月3日 高崎健康福祉大学で行われた代表者会議へ参加
今後の予定
8月30日 前日準備(参加予定4名)
8月31日 当日(参加予定6名)

ブース:アクティビティー、自助具体験、脳トレ、相談コーナー、OT広報、ノベルティープレゼント

主催者より物品購入費補助(10,000)あり

- ・第22回群馬県作業療法学会(令和元年12月8日)
- ・学会企画:基調講演、一般公開講座、特別シンポジウム、ワークショップ(5テーマ)、一般演題(ポスター)発表、MTDLP事例検討、福祉機器・福祉車両展示、書籍販売(予定)

※今年度は、MTDLP以外は全参加者の聴講を可とする予定。

→ノベルティグッズをOT以外の参加者に配布できるか、広報部に相談中

- ・講演、ワークショップ講師の確定
- ・学会タイムスケジュール確定(ポスター演題数によって変更の可能性あり)

- ・後援依頼に対する回答状況 3か所
- ・学生ボランティア ※当日役割に関しては検討中
- ・群馬医療福祉 午前5名、午後5名・太田医療 午前2名、午後2名
- ・前橋医療 午前2名 午後2名
- ・群馬大学 午前2名 午後2名 合計:午前11名、午後11名
今後の予定

10月もしくは11月 第4回実行委員会(支部会議)開催

【お願い】○学会に関する周知事項

一般演題数が7月10日現在0となっている(応募締め切り7月29日)。
※理事の皆様からも演題登録について周知していただけるようお願いしたい。

※Facebook

【審議事項】なし

2) 東毛ブロック支部 報告者 村井

【報告事項】

○太田市講師派遣事業

・資料は地域連携部で作成していただき昨年使用したものを、加筆行いながら使用。11会場でのサロンに対し、認知症対応での講師派遣依頼あり。4施設 7名のOTから参加希望有、割り振りで対応行い対応していく。

謝金は個人宛だけでなく、事業所あてにも対応できる旨連絡あり詳細確認中。

・今回は広域連携依いに依頼あり。

※太田市はPTに介護予防の講師派遣は依頼するよう使い分けている。

○懇親会開催

日時:令和元年8月19日 19:00~

場所:デイホーム孫の手・おた

内容

○2次医療圏ごとの窓口と取り組み、活動主体の共有

○来年度県学会の準備に関して協力要請...学会長 村井理事

○市区町村レベルでの窓口を作るなどの提案。

○ブロック内の互いの施設を見学できるよう会場は随時変更

など、情報共有の中からご意見を集める場にまずはしていきたい。

【審議事項】なし

3) 北中毛ブロック支部 報告者 小此木

【報告事項】

○ブロック会議 平成30年10月25日 19時~

渋川医療センター会議室

・今後の作業療法士会の動きについて

・中毛ブロック懇親会の提案

・ブロック長の紹介

・2次医療圏連絡先担当者の決定

・沼田地区 関根英哉氏 沼田脳神経外科循環器科病院

・渋川地区 清水信行氏 みずき荘

・吾妻地区 関修司氏 群馬リハビリテーション病院

・前橋地区 木暮和希氏 前橋協立病院

○第21回 群馬県作業療法学会 平成30年12月2日

群馬大学保健学科

・テーマ 地域でいきる ~医療から生活へ~

・学会長 高橋 久美子氏

○懇親会 平成31年3月21日 19時~ 渋川市魚民にて

- ・11名の参加者 ・名刺交換等

○今後の活動予定

- ・ブロック会議の開催 時期、場所については未定

内容

- ・情報共有方法についての検討 ・メーリングリストの活用？
- ・サイボウズ等のアプリケーションの利用など。
- ・地域支援事業などの情報共有
- ・2021年度群馬県作業療法学会について
- ・第二回北中毛ブロック懇親会の開催
時期未定 場所:前橋市周辺を検討

【審議事項】なし

6. 運転と作業療法特設委員会[報告者:李委員長/原大地]

【報告事項】

- 1) 第6回ぐんま自動車運転リハビリテーション研究会研修会を実施した。年2回OTでの会合を行う。
- 2) 第2回教習所交流会を実施した。

【審議事項】なし

7. 災害対応委員会[報告者:関根]

【報告事項】なし

【審議事項】

- 1) 協会からの「2019年度大規模災害発生を想定したシミュレーション訓練の実施についての希望調査」について、今回はシミュレーション訓練に参加して回答いたしますがよろしいでしょうか。
理由:昨年2月実施の訓練に参加。今回それ以上の規模の訓練準備ができないため ⇒ 承認

8. 学術部[報告者:李・村井/学術部長 牛込祐樹]

【報告事項】

- ・県士会における学術支援活動を行なった。
- ・第22回群馬県作業療法学会の運営支援を行った。

【審議事項】なし

1) 学術研究グループ グループ長 近藤健

【報告事項】

- ・学術研究グループの勉強会を7月29日から開始する予定。(参加希望者は5名)
- ・学術研究グループの支援を受けた5名の会員がOT学会(福岡)に採択された。

【審議事項】なし

2) 学会支援グループ グループ長 野口直人

【報告事項】

- ・第22回群馬県作業療法学会実行委員会に参加、各種活動の支援を実施した。
- ・第22回群馬県作業療法学会のHPを作成した。
- ・第22回群馬県作業療法学会の予算案等の作成し、各団体への後援申請を実施した。
- ・群馬県作業療法学会facebook pageを運営し、7月11日現在で252の閲覧を確認した。

【審議事項】

- ・第7回北関東信越ブロック学会のマニュアル作成に伴う必要情報(学術部 資料1)
⇒開催日程:群馬県作業療法学会と北関東信越ブロック学会を兼ねて1日開催
- ・学会長:群馬県作業療法学会と北関東信越ブロック学会を兼務する形で1名選出
- ・実行委員会の担当:現行通り各ブロック支部で持ちまわり、両学会の実行委員会を兼務して実施するが、一部他のブロック支部の協力を得る。

3) 機関紙編集グループ グループ長 糸井陽祐

【報告事項】

- ・令和元年度 機関誌編集グループ会議を開催した。
- ・投稿論文について、査読業務を開始した。
- ・第22回群馬県作業療法学会実行委員会に参加した。

【審議事項】なし

9. 福利厚生部[報告者:市川]

【報告事項】

- 1) リレーフォーライフ10/12・13 2) 8/2部会開催予定

10. その他[報告者:山口]

【審議事項】

- 1) 厚生労働省指定「臨床実習指導者講習会(都道府県講習会)」について

対象者:会員・非会員に問わず、作業療法士・理学療法士が相互にいずれの講習会にも参加可能

定員:講習会毎に各100名(最大)

開催地:開催可能な都道府県

主催:日本作業療法士協会、日本理学療法士協会、全国リハビリテーション学校協会の3団体による共催

運営主体:都道府県作業療法士会、都道府県理学療法士会及び臨床実習指導者講習会連絡校が連携・協議の上で企画運営

費用負担:都道府県作業療法士会、都道府県理学療法士会及び臨床実習指導者講習会連絡校が協議の上で決定

受講料:非会員の金額設定を含めて各都道府県にて協議し決定(資料代1,000円)

以上が決定している事項。

- ・群馬でも協議会(連絡会?)を設立して協議の予定
- 1. 県士会内での運営部署をどうするか(例:教育部、事務局、職能開発部、特設部局?養成校連絡協議会?)
- ・いずれにせよ実質的な運営業務は養成校連絡協議会と連携したい
会場貸与や運営は各養成校からの協力を得たい
⇒今年度に関しては、養成校連絡協議会+事務局+理事会で開催。
次年度何処につなげるか検討していく。
- 2. 日時・場所について
令和2年2月29日(土) - 3月1日(日)群馬大学でいかかか。
⇒承認

【報告事項】

- 1) POS連絡協議会
 - ・介護予防部→高崎サロン等
 - ・地域ケア会議部→引き続き基金用いた事業
- 2) 県フレイル予防事業について→県支援センターが一部事業受託
 - ・モデル事業→前橋・伊勢崎・安中(19/6/28に県と各市町村の打合せ会議)
 - ・市町村向け講習会(フレイル予防サポーター育成研修)、評価事業に向けたWG
 - ・令和元年度フレイル予防講演会 2019年7月25日(木) 13:30~15:30
会場:群馬会館 ホール(前橋市大手町2-1-1)
講師:東京大学高齢社会総合研究機構 教授 飯島勝矢 先生

11. 事務局[報告者:高橋]

【報告・審議事項】

- 1) 協会アンケート(障害者スポーツの関わり調査)についての報告及び回答について
⇒障害者スポーツ関連の連絡窓口 柴田理事で報告する。
- 2) 2019年度 群馬県作業療法士会組織図確認。⇒訂正し承認。
- 3) 事務局の印刷機・コピー機類について
 - ・現在リコーリース契約中だが、印刷機等古く保証期間が過ぎており、何時故障するかかわからない状態(故障しても部品が無く修理困難)
 - ・リコーリース機器の廃棄料 4台全てで¥77,000かかる。
⇒保留。機種選定し価格・ランニングコスト等比較表を提出し再度審議予定。

【連絡事項】

- 1) 次回理事会
日時:9月11日(水) 19時~

群馬県作業療法士会傷害保険のご案内

群馬県作業療法士会では、県士会の活動やその活動にかかる移動(運転中など)で発生した事故に対し傷害保険に加入しております。

県士会の活動中事故にあわれた際は、できるだけ速やかに報告をお願いいたします。

〈補償内容〉

- ・群馬県作業療法士会活動中に被った「傷害」を補償。
「傷害」とは、「急激かつ偶然な外来の事故によって身体に被った傷害」をいう。

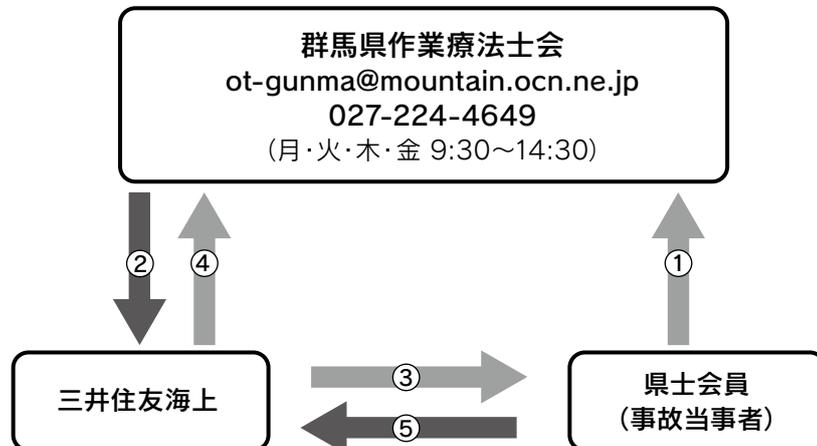
- 死亡保険金 : 1,000万円
→ 傷害のため、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡した場合、死亡・後遺障害保険金額の全額1,000万円を補償。
- 後遺障害保険金: 1,000万円に後遺障害の程度に応じた所定の割合を乗じた額
→ 傷害のため、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に後遺障害が発生した場合、後遺障害の程度に応じて、死亡・後遺障害保険金額の4%~100%(40万円~1,000万円)を補償。
- 入院保険金日額: 1,500円(入院180日を限度)
通院保険金日額: 1,000円(通院90日を限度)
→ 傷害の治療ため、事故発生の日から180日以内に病院・診療所に入院または通院し、日常生活や仕事ができるようになるまでの治療日数を補償。
- 手術保険金: 入院中に受けた手術の場合…入院保険金日額×10
入院中以外の手術の場合…入院保険金日額×5

〈補償対象とならない主な事由〉

- ・被保険者、保険金受取人の故意または重大な過失による傷害
- ・自殺行為、犯罪行為、闘争行為による傷害
- ・地震、噴火、またはこれらを原因とする津波による傷害
- ・原因がいかなる場合でも、頸(けい)部症候群(いわゆる「むちうち症」)または腰痛で医学的他覚所見のないもの
- ・自動車等の無資格運転、酒気帯び運転または麻薬等を使用して運転している間の傷害
- ・脳疾患、疾病または心神喪失による傷害
- ・妊娠、出産、早産、流産または外科的手術その他の医療処置による傷害
- ・入浴中の溺水(ただし、急激かつ偶然な外来の事故によって被った傷害により生じた場合は、補償の対象)
- ・原因がいかなる場合でも誤嚥(えん)によって生じた肺炎 など

保険請求の流れ

- ① 事故報告
- ② 事故内容の報告
- ③ 保険金請求書の送付
- ④ 事故証明の発行以来
- ⑤ 請求書の記載・返信



※①の電話受付は、事務局の開設時間に限りです。

※メールにて報告された際は2週間以内に返信または請求書が届かない際はお手数ですが、群馬作業療法士会までお問い合わせください。

新人症例発表会 開催決定!!



群馬県作業療法士会では毎年「新人症例発表会」を開催しております。

これは、日頃抱えている疑問や問題点、あるいは成果・経験などの意見交換の場となることを期待しているとともに、先輩や他施設の作業療法士とのディスカッションや助言から、解決の糸口を見つけるきっかけとなることを目的としています。

また、「生涯教育制度・現職者共通研修 事例報告」の単位を取得する場としても位置づけられております。来年度も下記の要領にて開催する運びとなりました。つきましては、今年度新会員になられた皆様・単位未取得の皆様の自己研鑽の場として活用していただければと考えておりますので、積極的な参加をお待ちしております。

★日時:令和2年4月19日(日) 9:30~16:00(予定)

★場所:群馬県立心臓血管センター

★発表希望者の登録の締め切り:令和元年11月27日(水)〆切

詳細は協会HPを参照して下さい。

仕事も遊びも大切にしたい方!!

勤務地・仕事内容

前橋・高崎・渋川・伊勢崎エリア
訪問看護ステーションからのリハビリ業務

勤務形態/勤務時間

- 正社員/8:30~17:30
- 準社員/8:30~17:30のうち4.5時間以上
小学校卒業までの子を持つ親または
同居家族の介護を行っている場合
- パート/8:30~17:30のうち3時間以上

給与

基本給+資格手当+実績手当
260,000円~(準社員・パートは勤務時間により変動)
経験考慮いたします

休日・休暇

- 年間120日以上
- 土・日・祝日(成人の日は除く)
- 夏期休暇、年末年始
- 特別検診等休暇、参観休暇、介護楽しんで休暇、
パパ産休などの独自の特別有給休暇

待遇・福利厚生

- 各種保険加入 ■退職金制度
- 賞与年2回(昨年度実績)
- 研修参加補助金制度
- マンツーマン指導あり

働き方改革への先進的な取り組みで
国や県からの受賞多数。

●お問い合わせ先
ココロ

Coco-Lo
http://coco-lo.net/

〒376-0011
群馬県桐生市相生町2丁目261-3

☎0277-55-5422 担当:しかぎ

受付時間/8:00~17:30(土・日・祝休)

ぜひ一度
弊社ホームページを
ご覧ください!

COCO-LO 検索

当事者の明日へ繋げる

発達障がいの理解と生活支援

近年、発達障がいをもつ方は増えており、医療福祉及び教育現場における適切な協働、治療・支援の必要性が高まっています。

そこで、今回は、お二人の講師をお招きし、発達障がいにおける機能障がいと気分障がいなどの二次障がい、治療・支援の現状と今後の動向、当事者が抱える学校や就労等の社会生活上の困難さ、就労支援の実際等についてお話しいただきます。ぜひ、お気軽にご参加ください。

講師

医療法人喜志会 ケン・クリニック 理事長

溝口 健介 氏

NPO法人 リンケージ 理事長

石川 京子 氏

令和元年11月17日(日)
8:55~12:10

(受付開始 8:30~)

会場 群馬医療福祉大学本町キャンパス
群馬県前橋市本町2-12-1
K-BIX 元気 21 まえばし 6・7 階)
JR両毛線前橋駅北口から徒歩10分



対象 医療福祉関係者、教育関係者、当事者、一般参加者

費用 無料

申し込み方法 FAXまたはメールでお願い致します。

- ・ 締め切り: 令和元年11月15日(金)
- ・ FAX: 裏面の必要事項を記入の上、027-260-1294 にお送りください。
- ・ メール: seishin_ot_gunma@yahoo.co.jp に①所属施設、②連絡先(電話番号)、③参加者氏名(日本作業療法士協会員は会員番号も)を記載して送信してください。メールの件名は、「自殺対策研修参加申し込み」としてください。
- ・ 当日は駐車場が混み合う可能性があります。時間に余裕をもってお越しください。

定員 **100** 名

本研修は、日本作業療法士協会生涯教育ポイント対象(基礎研修2ポイント)です。
当研修会は、令和元年度群馬県地域自殺対策強化事業補助金の助成を受けて実施しています。

お問い合わせ

TEL 0270-74-0633(代)

Mail seishin_ot_gunma@yahoo.co.jp

医療法人原会 原病院
作業療法士 加藤 智弘

精神障がい者バスケット交流会

ドリームバスケットボールキャラバン2019-2020 群馬に参加して

医療法人原会 原病院 加藤 智弘

令和元年8月24日、精神障がい者バスケット交流会に参加をしました。午後の猛暑の中での交流会でしたが、共催していた群馬クレインサンダースの協力もあり、空調の効くヤマト市民体育館前橋で行われました。

参加者には、共催の群馬クレインサンダースからジュニアスクールのコーチと、現役選手でキャプテンの佐藤選手と今シーズンから入団をした野崎選手の2名も参加をしました。当事者の方も参加しており、普段クラブチームで活動をしている方やその子供達、医療従事者等の総勢20名程の参加者がいました。

練習をする前のアップの段階で1時間弱を使いコートを走ったり、上肢と下肢を別々に動かしながらリズム感を必要とするような動きを求められており、普段運動をしていない私にとっては息もあがってしまいました。

私にとって、バスケットボールは初心者であり運動そのものも、就職して以来10数年ぶりでありアップ後に休憩を挟んで8分×4ピリオドのゲーム、フリースロー対決、6分×2ピリオドのゲームと内容の濃い交流会でした。元気のいい子供達は、ほぼゲームには出ていましたが、大人達は交代をしながら、ゲームを行い運動不足の私にとっては、翌一週間は階段を手摺なしでは昇降出来ないほどの筋肉痛に苦しめられました。

来年度も実施を継続していただけるとのことなので、精神障がいの分野以外で働いているOTの方でも興味のある方や、バスケットボール経験のある方でも充分に楽しめる内容だと思いますので、是非参加をしていただければと思います。



令和元年度 こころのふれあいバザー展 参加報告

上毛病院 高橋 雄

県士会広報部として、例年県内で開催される「こころのふれあいバザー展」に参加してきました。

このバザー展は、平成16年より毎年開催され、広報部はここ数年、広報活動の一環として、参加させていただいています。今年は、精神科作業療法士9名、当事者3名、学生ボランティア7名の協力を得、うちわ作りやスタンプラリーを実施しました。また、木の葉に見立てた紙に、参加者の皆様にとって元気になる作業(生活行為)を記載していく「元気の木」も併せて製作しました。

うちわ作りでは昨年を越えて150名程度、スタンプラリーでは200名程度の方にご参加いただきました。

運営側には、1～5年目の若い作業療法士が多く参加してくださり、よい顔合わせの場となるとともに、それぞれの所属施設で抱えている悩みや、県内の精神科作業療法の現状について情報共有を図るきっかけとなりました。また、県内の精神領域の関連施設も多数参加されており、病院だけでなく地域との繋がりが持てる場にもなりました。

うちわ作りやスタンプラリーに参加して頂いた方の声として「楽しかった」、「毎年楽しみに参加させてもらっている」等のご意見が多くありました。

このように、参加者・運営者両者にとって有意義な本イベントですが、現在、当会としてはマンパワー不足などの影響から運営上の課題も抱えているのが現状です。今後も、イベントへの参加を継続していくにあたり、一緒に運営をお手伝いして下さる方や、課題解決のためのナイスアイデアをお持ちの方がいらっしゃいましたら、次年度以降、是非ご協力をよろしく願います。学生会員の皆様も、是非お気軽にご参加ください!皆で楽しい会(部)を創り上げていきましょう。

最後に、今年度、運営にご協力をいただきました、有資格者の皆様、当事者の三名方、学生ボランティアの皆様に感謝申し上げます。

入部、運営参加に関するお問い合わせ:joumou-ot@jnk.jp(上毛病院リハビリテーション部、高橋)



「精神科OTの妙技～埼玉編～」へ参加して

西毛病院 地域支援課
地域作業療法推進部 精神科グループ
広報部 ニュース編集グループ 反町 拓海

8月31日、埼玉県にてOT協会47都道府県委員会精神科ワーキンググループ企画・協力、埼玉県作業療法士会ところとくらしの地域支援委員会主催によるリレー型研修会、「精神科OTの妙技～埼玉編～」へ参加させて頂いた。この研修は47都道府県委員会の精神科ワーキンググループを中心にリレー形式で開催していく研修会となっており、その第一回目であった。

昨年、群馬県学会でもご講演されていた精神科作業療法協会会長の宇田先生を中心に組織され、全国20士会から領域を問わず多数のOTRの方々が参加されていた。また、協賛として(株)さくらほりきり様も当日参加されており、共創型の新しいカタチの研修会となっていた。なんとなくカタいイメージの拭えない精神科、OTの研修会だが会場は埼玉県士会の方々による飾り付けや、BGMがあつたりと明るい雰囲気や研修に臨むことができ、ありそうでなかった視点で、とても新鮮でワクワク感すら感じる環境となっていた。

妙技①として、「すぐ使える簡単アセスメントツールの紹介」として(株)さくらほりきり様のがま口キーホルダーを実際に作成しながらグループワークが行われた。製品の紹介はここでは避けるが、短い時間で簡単に作成できる上、認知機能・身体機能を含め作成時に起こる情動の変化等、自然とコミュニケーションを取りながら行っていた。宇田先生は「初期評価に用いている」と話されており、未だに個別対応への糸口が掴めないでいる精神科領域にとっては非常に効果的な妙技の提供であった。まず、評価の在り方、使用する物品のことから考え直さなければいけないのだが……。

妙技②として「他職種に頼られる情報提供・助言、関係づくり」として、こちらも実際に用いられている独自の評価ツール「OTCC」の紹介と実践報告を踏まえた伝達が行われた。他職種を巻き込んで患者さまのことを第一に考えられるツールであり、ぜひ実践してみたいものであった。また「連携」というワードを中心に難しさやアイデアも全国のOTRの方々と情報交換することができる貴重な時間となり、情動中心、時間内だけの介入になりがちな精神科領域において、他(多)職種連携を考え、OT視点をわかりやすく伝え、生活に汎用化させていくことの重要性和課題を感じた。

さらにこの研修会の魅力は、終了後もSNSを使い「妙技ネット」として紹介された妙技の実践報告がされていたり、症例のその後が投稿される『継続型研修』となっている点だ。終了後からほとんど毎日更新があり、やりとりが続いている。時代の流れに合わせてアップデートされた手法であり、今後の群馬県でも着手することを期待する取り組みだ。

文才ないためわかりにくく、伝わらない内容となってしまうが、「教える側」と「教わる側」に分かれない形式であったり、研修時間だけで終わらないSNSを用いた取り組み等、運営する際にも参考になる研修であった。未だ敷居の高さを感じる精神科領域でこそ、率先して取り組んでいても良いのかもしれない。

なお、次回以降のリレー研修は詳細未定だが既に京都、新潟で行うことが決まっているので、興味のある方はチェックし、参加してみたいかだろうか。

最後になりましたが、埼玉県作業療法士会ところとくらしの地域支援委員会の皆さま、(株)さくらほりきり様には心より感謝申し上げます。



》 学術部

執筆者 ▶ 牛込 祐樹 (群馬医療福祉大学)

平成30年度 活動報告

学術部は、群馬県内の作業療法に関する学術研究の推進と質の向上を目的として、群馬県作業療法学会における企画運営の支援および学術機関誌の編集・発行、学術研究の学会発表や論文作成の支援を行います。

①学会支援グループ(グループ長:野口直人OTR、グループ員:7名)

学会支援グループは、各ブロックの実行委員会と連携し、群馬県作業療法学会の企画運営を行います。また、県学会実行委員が本来の役割である県学会の構想(テーマ、講師の選定等)を中心に活動できるよう、年間スケジュール管理、財務や公文書管理など事務局機能に積極的に関与し、支援を行います。

平成30年度は、北中毛ブロックの実行委員会とともに第21回群馬県作業療法学会を開催しました。

②機関誌編集グループ(グループ長:糸井陽祐OTR、グループ員:7名)

機関誌編集グループは、県士会の学術機関誌である「ぐんま作業療法研究」の編集・発行を実施しています。平成30年度より、機関誌と学会誌を合併しての発刊をすることになり、学会支援グループ、学術研究グループとの協力体制を強化しています。当グループの主な業務としては、研究論文や実践報告等の論文投稿募集、投稿論文の査読依頼と調整、原稿の校正と印刷などを行います。昨年は、3編の論文掲載がありました。

③学術研究グループ(グループ長:近藤健OTR、グループ員:4名、査読員:33名)

学術研究グループは、学術研究の質向上のため、学会発表を検討している県士会員を対象に勉強会の開催、研究の相談助言を行います。また、県学会における演題と機関誌の投稿論文について査読を行い、学術研究の質を高めるために寄与しています。県学会の査読は教育的査読を心がけています。自身のスキルアップのため、各施設の新人教育の一環として利用していただけるとよいと思います。平成30年度は、学術研究に関する勉強会を開催し、5名の会員が日本作業療法学会(福岡)で発表する予定です。

令和元年の活動計画・抱負

令和元年度も、学術部の3グループが目標を共有し連携することで、学術研究の推進と質の向上を推進するとともに、効率的な運営を行います。

①学会支援グループでは、各ブロックの実行委員会が本来の役割である県学会の構想(テーマ、講師の選定等)を中心に活動できるように学会支援グループが年間スケジュール管理、財務や公文書管理など事務局機能に積極的に関与し、支援を行います。

②機関誌編集グループでは、昨年同様に機関誌と学会誌を合併して発刊します。学会開催のスケジュールに合わせての編集作業を進めていきます。また、学会支援グループ、学術研究グループとの連携や、学術部以外との交流等も含めて県士会活動の活性化に寄与できればと考えています。グループ内の定期的な会議の開催や、勉強会など委員自身の知識向上や他領域のOT同士の交流の場にもしていきたいと考えています。

③学術研究グループでは、今年度も会員への学術支援活動を積極的に行い、会員の皆様の研究成果を群馬から全国へ(いずれは世界へ)、発信することを支援していきたいと考えています。

部の様子や雰囲気、部員内ニュース

学術部の活動は、あまり目立つことはありませんが、学術活動を県士会員の傍らで支えています。そのスタンスは、作業療法士の得意とする所であり、そこにやりがいを感じている部員も多いように感じます。

県士会員へ向けてのメッセージ

学術部では、群馬県内の学術活動を活発にしていくために新しい試みをスタートさせています。その実現のために、一緒に活動してくれる部員を募集しています。

学会運営や機関紙編集、学術研究支援に携わることは、作業療法士として成長するための多くの経験と人脈形成につながり、新しい視界が広がると感じています。学術研究に興味のある方はもちろん、自身の作業療法の在り方に悩んでいる方や臨床経験が浅くて迷っている方なども大歓迎です。参加を希望する方は、下記の連絡先までご連絡ください。是非、一緒に活動しましょう!

(連絡先)学術部 部長 牛込祐樹

群馬医療福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法専攻

TEL:027-210-1294 FAX:027-260-1294/MAIL: ushigome@shoken-gakuen.ac.jp

地域作業療法推進部

執筆▶ 真塩 敦士(NPO法人じゃんけんぼん)

平成30年度 活動報告

地域包括ケア推進G:介護予防に資する人材育成研修会を県内3ブロックにて実施した。太田市介護予防事業にてサロン講師派遣の調整を行なった。

認知症支援推進G:認知症ケア資質向上のための研修会を3回実施した。家族会支援に向けて、家族会会長と情報・意見交換を実施した。

発達支援推進G:特別支援学校機能強化事業専門職配置事業を継続実施した。学童保育団体主催研修等への講師派遣を行った。

精神科領域推進G:群馬県自殺対策強化事業として研修会等を実施した。精神科OTが主対象の情報交換会を実施した。

令和元年の活動計画・抱負

地域包括ケア推進G:介護予防に資する人材育成研修会を県内3ブロックにて実施予定である。

認知症支援推進G:認知症ケア資質向上のための研修会を実施予定である。

発達支援推進G:特別支援学校機能強化事業専門職配置事業等を継続して実施予定である。

精神科領域推進G:群馬県自殺対策強化事業として研修会等を実施予定である。

部の様子や雰囲気, 部員内ニュース

現在、部員は44名おり、各グループの会議や研修会では、皆で試行錯誤し、意見を出し合いながら取り組んでいます。年に数回懇親会も行っており、とても仲の良い楽しい一面もあります。今年度からは県士会各部との懇親会も企画中です!

県士会員へ向けてのメッセージ

私たち地域作業療法推進部は「地域包括ケア推進グループ」「認知症支援推進グループ」「発達支援推進グループ」「精神科領域推進グループ」の4つのグループから構成されています。人材育成のための研修会の開催、サロンへの講師派遣調整など人材派遣に対応するための仕組みづくり、認知症の家族会支援、特別支援学校への専門職配置の調整などの活動や県・市町村との連携を通して、地域貢献可能な作業療法士を育成し、地域で作業療法士が活躍できる・必要とされる状況を作ることを目指しています。

現在、県士会も県単位からブロック単位(東毛、西毛、北中毛)へと、組織へとあり方をシフトさせており、より地域に密着した、身近な組織を目指しています。皆様が暮らす地域で、住民の方が何かにかんづいたとき、「作業療法士に相談してみよう」「それは作業療法士に相談してみたら?」という声が当たり前になるように、地域で活躍する作業療法士を支援する活動と一緒に進んでみませんか?皆様と一緒に活動できるのを楽しみにしております。

地域作業療法推進部 発達支援推進グループ

執筆▶ 勝野 恵(群馬県看護協会 訪問看護ステーション高崎)

平成30年度 活動報告

・地域の保育園や幼稚園、小中高校に伺い、お子さんやご家族、先生の困っていることになぜ課題が起きるかをお話し、解決できるよう進めました。

・ホームページ担当を決めて、勉強会の中で生活の知恵袋となることを提案し、発信を進めました。

・教員が学校で使用する評価表の作成に協力しました。

・乳幼児健診や保健師の研修会に講師を配置しました。

・学童保育団体主催研修への講師派遣を行いました。

令和元年の活動計画・抱負

・今年度から六本木グループ長が新しく就任しました。今までの活動内容を尊重しつつ、新たに研修を企画し啓蒙活動を進めています。新生の発達グループが無事に軌道に乗れるように、今年ががんばります。

部の様子や雰囲気, 部員内ニュース

・年6回勉強会を行っています。会場となるanomiraは緊張しやすい子ども達が居心地よく過ごせるための工夫が至るところにあるので、私たちも気持ちよく参加しています。勉強会では、学校などに訪問していく中で課題の抽出や対応策、ホームページに載せる知恵袋として使いやすい文房具など、皆で知恵を出し合っています。

県士会員へ向けてのメッセージ

・私たちは発達過程の子ども達のできないことをできるようにしようという発想ではなく、希望や可能性を広げていこうというスタンスで進めています。子ども達が孤立せず、家族の中で可愛がられて、社会の中で力を発揮できるように、一緒に活動を進めてくださる方を募集しています。ぜひ一度奇数月の第2木曜日19時anomiraまでお越しください!

ぐんまスポーツ整形外科

【病院の概要】

当院は2018年4月に前橋南インター近くに開設され、今年で2年目の新しい病院です。

周辺には前橋南インターがあり各方面からのアクセスが良く、近くには大型ショッピングモールもあります。リハビリ室は大きな窓に囲まれて開放感がある中でリハビリすることができます。

入院設備はなく、「スポーツを通じ、群馬から日本を元気にする」を基本理念のもと、スポーツ傷害から一般整形外科疾患まで保存療法や術後の患者様まで包括的なサポートを行なっています。1人1人の患者様にしっかりと時間をとって治療を行うため完全予約制にしています。完全予約制であるために待ち時間も少なくスムーズに診療することができます。

2019年5月には屋根付き全天候型運動場である人工芝のパフォーマンスエリアも完成し、スポーツ復帰までのアスレティックリハビリテーションや傷害予防にも力を入れています。



【リハビリテーション部門】

理学療法士5名、作業療法士1名、クリニックアテンダント1名。

運動器リハビリテーション料（I）を算定しています。

【リハビリテーション部門の紹介】

当院のリハビリテーション部門では、スポーツ傷害から一般整形外科疾患、手術後の患者様など、子どもからお年寄りまで全ての年代の方に、スポーツ整形の技術を提供しています。徒手による局所の治療はもちろんですが、全身の評価をする事で、根本的な痛みの原因に対して治療行なっています。ご自身の身体の状態を理解していただき、受け身のリハビリテーションではなく、自主トレーニングが出来るようになるようにお手伝いをさせていただいています。

クリニックでは、院内勉強会や接遇研修会も定期的に実施しており、治療の質とともにサービスの質の向上にも努めています。医師・看護師・放射線技師・クリニックアテンダントともコミュニケーションが取りやすく、1人1人の患者様のためにチーム医療を心掛けています。ヨガ部やフットサル部などの活動もあり、職員の健康増進にもなっています。

リハビリテーション部門は、現在、作業療法士1人であるために、理学療法士と一緒に仕事に取り組んでいます。若手から子育て世代と幅広い年齢層のスタッフがおり、お互いにフォローしながら仕事しています。作業療法士という資格に縛られずに、患者様のために日々勉強しながら臨床に取り組んでいます。



大学院社会人学生募集中



当研究室は、運動生理学手法を用いた上肢機能解析を中心に、身体障害作業療法分野全般の研究を行っています。ベテランから新人まで多くのOTが仕事と研究を両立、修士・博士課程に在籍しています。身障分野の臨床研究に関心のある方は、ぜひ大学院で自分の可能性に挑戦してみたいはいかがでしょうか。

毎週木曜日の勉強会は一般公開していますので、ご興味のある方はご見学下さい。

群馬大学大学院 保健学研究科
教授 李範爽
leebumsuk@gunma-u.ac.jp

作業療法士 常勤職員 募集

桐生川の畔(ほとり)にたたずむ90床(一般病床39床、療養病床51床)のケアミックス型病院。「地域の人々に信頼され愛される病院」を理念として心を込めた医療サービスを提供しています。

標榜科目:内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳・血管内科、リハビリテーション科、放射線科
脳血管疾患等リハビリテーションIIの施設基準を満たすため有為の作業療法士を募集します。

【勤務地】 桐生市菱町三丁目2,069-1

【勤務時間】 常勤者=8:30~17:30(休憩1時間)

パート=週3日、週24時間以上

【休日】 4週8休(土曜午前勤務はローテーション)

【待遇】 基本給=180,000~300,000円

資格手当=15,000~25,000円

合計(定額分)=195,000~325,000円

その他手当:皆勤=8,000円:住宅=4,000円

パート時給=1,500~2,000円

交通費=20,000円まで

【応募方法】 先ずはお電話下さい。事前見学に来院願います。

【選考方法】 書類、面接

医療法人山育会 日新病院

〒376-0001 群馬県桐生市菱町三丁目2,069-1

☎:0277-30-3660 Fax:0277-30-3661

投稿大募集!!

ニュースでは、日頃感じている些細な疑問や日常業務で工夫している点、こんな研修会に参加した...などなど、皆様からの投稿を募集しております。

どんなことでも構いませんので、お気軽にお寄せ下さい。お待ちしております!!

アドレス: dc_nanohana@yahoo.co.jp
広報部・ニュース編集グループ
反町拓海

県士会ホームページアドレス

<http://www.gunma-ot.org/>

編集後記

「暑い」「暑い」と言っていた夏もあっという間に過ぎ、日々の気温の変化に1年の早さを痛感している今日この頃。年内のニュースも今号が最後となり、年度では次号の1月号で終了となる。ペーパーレスが叫ばれるこの時代に、どこまでの価値を見出せるのか、編集する上での個人的な課題になっている。再三書いているが、編集部だけではどうにもならない面も多々あり、協力者となる方は常に募集している。組織率の低下が課題となっているOT業界、ぜひ一丸となって盛り上げていきたいものだ。

S

群馬県作業療法士会ニュース

発行者 || 新井 健五

発行所 || 群馬県作業療法士会事務局 〒371-0024 前橋市紅雲町1丁目7番12号 TEL・FAX 027-224-4649

編集代表 || 反町 拓海 編集委員 || 中村 真美、関 仁紀、下田 幸、吉澤 一郎 印刷 || 星野印刷株式会社